

神戸スタディーズ #2
KOBE STUDIES

受講生募集!

大地からみる神戸：地形と(地)域

地-質 からみる

What kind of town is it as Kobe?

神戸

水際からみる神戸：氾濫原・埋立地

定員：25名 参加費：500円(全通し)

※まち歩きの際の交通費は含まれません。

2013.

第一回 6.26 [水] 19:30-21:00

第二回 7.10 [水] 19:30-21:00

第三回 7.24 [水] 19:30-21:00

第四回 8.3 [土] 13:30-17:30

場 所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3階 301
8/3(土)のフィールドワーク時のみ、神戸市内を予定

講 師：松田 法子 (都市史・建築史研究者)

モデレーター：芹沢 高志 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長)

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

KII+O:

DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE

「神戸スタディーズ」とは

「神戸ってどんなまち？」

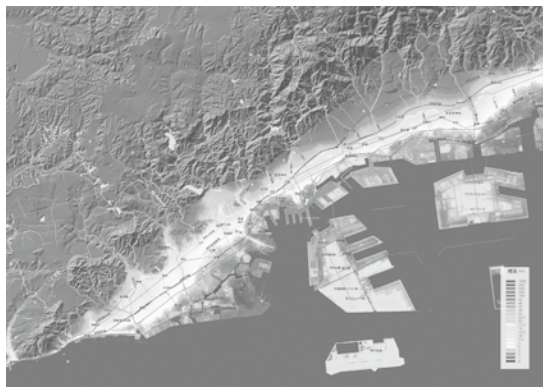
と聞かれて、あなたはなんと答えるでしょうか。

さまざまに語られる神戸というまちのイメージをあらためて考えるため、多様な専門分野の方を講師に迎え、これまでなかった視点で神戸を見る「神戸学」をつくる試みです。

今回は、大地、海、そして双方のあいだである“水際”という3つのエリアを設定し、地形などそれぞれ注目すべきポイントにフォーカスしながら“地一質からみる神戸”に迫ります。

「地一質」とは、一般的な「地質」の意味合いを含みながらもそれだけではなく、都市や建築のあり方やその行方をより深く考えていくための一つのきっかけづくりを目指した言葉です。その場所や土地のキャラクター（あるいはクオリティ）を再確認すること、そして、普段わたしたちの目に見えている都市や建築の表層だけではなく、空間的・時間的に深層を掘り下げていくことで、その姿をより深く理解したいと思えます。

主なフィールドとして、旧居留地・元町・三宮に代表される「神戸」、そして隣り合う港町でかつて古い歴史をもつ兵庫を選び、都市「神戸」が位置付く大きな空間的骨格の把握を目指します。



この地図は、国土地理院、国土交通省 水管理・国土保全局 作成の「基礎地図情報(5mメッシュ標高)」を、「カシミール3D」により加工し作成しました。

スケジュール

第一回 **6.26 [水] 19:30-21:00**

大地からみる神戸：地形と〔地〕域

東西に延びる六甲山脈、そこから短距離で海へ落ち込む細い帯状の陸地、神戸。その帯を南北方向に分節する川や岬。地形条件から多様に領域付けられる集住体の空間を、ここでは〔地〕域(じいき)と呼んでみたい。古代から近代までの時間軸も掛け合わせながら、大地より神戸の空間に迫る試み。

第二回 **7.10 [水] 19:30-21:00**

海からみる神戸：泊・津・湊・港

列島各地や海外に接続する袋状の海、瀬戸内海。近代港湾都市神戸、近世港町兵庫を中心に大阪湾に面するミナトの歴史を辿りながら、「港町」神戸の深層にアプローチする。

第三回 **7.24 [水] 19:30-21:00**

水際からみる神戸：氾濫原・埋立地 都市の低地性

海辺の低地に造営された二つのグリッド都市、福原京(平安時代)と旧居留地(明治時代)。税関や倉庫など近代神戸の都市インフラは前進する埋立地の先端に位置し、また我々は現代神戸のアイコンを都市公園化された埋立地の上に見る。平地と水辺は都市を吸い寄せる二大要素だ。それは都市が本質的に洪水や津波など水の危機を内包し、かつ脆弱な地盤面の上にあることも示している。

第四回 **8.3 [土] 13:30-17:30**

フィールドワーク(神戸市内数カ所を予定)

レクチャーで取り上げた場所を中心にまちを歩きながら、シリーズの内容を体感する。



松田 法子

京都府立大学大学院 生命環境科学研究所 専任講師
1978年生まれ。博士(学術)。都市と自然の歴史的な切り結びなどに関心をもち、これまでは主として温泉-都市を対象に、熱海や別府など近代日本の巨大温泉町の形成とその社会・空間構造について研究。同テーマによる学位論文にて日本観光研究学会 学会賞受賞(2009年)。著書に「絵はがきの別府」(左右社、2012年)。近年はオランダ・フリースラント州や新潟平野など、国内外の沿海低地部における都市・集落形成と水・低地との関係について調査研究を進めている。
東京大学大学院客員研究員(工学系研究科建築学専攻)、日本学術振興会特別研究員、東京大学大学院学術専門職員などを経て、2012年より現職。



芹沢 高志

デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長
1951年東京生まれ。89年にP3 art and environmentを開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展「デメーテル」の総合ディレクター(2002年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年-)。横浜トリエンナーレ2005キュレーター。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター(2009年、2012年)。

○ 申し込み

ウェブサイト(<http://kiito.jp>)からお申込みください。
※申し込みは6月4日(火)11:00から開始します。

○ お問い合わせ

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4
TEL:078-325-2235 FAX:078-325-2230
E-MAIL : info@kiito.jp WEB : <http://kiito.jp>

○ アクセス

JR、阪急、阪神線三宮駅より南へ徒歩20分
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分
ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



KIITO

DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE
デザイン・クリエイティブセンター神戸